



令和6年度 日本エースビジョン賞

全国
1位

23LK06258
“VENUS”

B ♂ 向後金治鳩舎作翔

24年春千葉東連盟Rg 439K5,705羽中総合110位 入賞率 0.01928

千葉東連盟地区N 582K4,698羽中総合 53位 入賞率 0.01128

千葉東連盟桜花賞969K1,016羽中総合 8位 入賞率 0.00787

合計入賞率 **0.03843**

生まれ

- ・生年月日 …… 23年4月生まれ
- ・順番 …… 1番仔

鳩体

- ・大きさ …… 中
- ・体型 …… 普通
- ・筋肉 …… 普通
- ・目の色 …… 銀
- ・性格 …… 神経質
- ・主翼の形状 …… キレあり
- ・腰の厚み …… 普通
- ・ベスト時の体重 …… 普通
- ・バランス …… 中間

作出の意図

- ・距離適性 …… 1000K
- ・展開 …… 分速1200~1300m台
- ・タイプ …… 未回答



* 令和6年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞1位 シルバーエクセレントビジョン認定

- 18LK06704 B 向後金治作
- 14LK07039 B 向後作翔 15年東日本CH総合5位・C地区優勝
 - 10LK07300 B 向後作
 - B02-7000660 BC モンス・ミラーベノア作
 - 兄弟の直仔/“ジダン”(2年連続Prov.エースビジョン賞1位)
 - 08LK04511 向後作 ツールN18,704羽中3位の娘
 - B11-4265266 B レヒースト作 “フロリス”の曾孫
- B16-6272948 B マルセル・フェルカメン作
- B12-6064056 マルセル・フェルカメン作
 - (“カースプール”、“ランボー”直系×下記“ブルーエース”全妹)
 - × “ブルーエース”(11年オリンピック中距離部門代表鳩)
 - B09-6249890 マルセル・フェルカメン作 “カースプール”の曾孫
 - 直仔/“スピリット”(モンリュエゾンN優勝)
- 20KA32685 B 新井 繁作翔
 - 21年ジャパンカップ3,051羽中総合71位・埼玉連盟5位
 - 全姉妹/“白鶴エースクイン号”(22年埼玉連盟AP賞1位)
 - 19KA12007 BC 新井作
 - “白鶴900号”11KA01900 B 新井作 “白鶴247号”×娘
 - 孫/18年埼玉連盟Rg総合優勝
 - 同腹の孫/18年東日本CH総合優勝
 - 異母兄の孫/“白鶴トップクイン”(24年東日本CH総合優勝・KBDB会長賞全国優勝)
 - 15KA10014 BC 奥住・新井 共同作
 - 10年秋500K埼玉連盟優勝(“レーザ”全兄弟の孫)×
 - “白鶴カップクイン”(09年総理大臣賞南関東地区1位)の全妹
 - 18-030095 BW 富田欣宏作

ジョン賞全国1位の 連盟・東総連合会)



「日本一のレース鳩」誕生——！

治鳩舎(東総)はビジョンスポーツを趣味として満喫し、国内外のあらゆる系統を駆使して飛ばすことを最大の楽しみ
ストテン入りという驚愕の翔歴を誇る同鳩舎にとって、自由配合で作られた伏兵ともいべき1羽——「23LK06258」
昨年の日本最優秀鳩舎賞・岡澤豊次鳩舎など全国区の強豪が鎗を削る千葉東連盟において、意外にも「日本一のレース
イメージと異なり、エポックメーカーは然るべき成績と血統的裏付けあり！ 果たしてレース鳩の“極み”のジェネシ
喜びをもたらした…！

エポックメイキングは アタマ一つ抜けた形で実現！

92年、隆盛期を支えた笹川良二氏
の辞任に伴い、新会長に就任した森
田浩光体制の象徴として設立された
「日本エースビジョン賞(以下日本A
P賞)」。総理大臣賞(現名・KBD
B会長賞)、「笹川賞(現名・会長賞)」
に続く第3のエースビジョン(以下A
P)であり、対象レースは3つの異な
る距離——「Rg(公称400K以
上)」「地区N(公称600K以上)」、
「桜花賞(公称800K以上)」である。
前述の2賞をミックスした内容であ
るが、Rgと地区Nが「5%内」、桜
花賞が「10%内」の申請条件が加わっ
ており、難易度は3つのAP賞の中で
最も高いものとなっている。「距離適正
＝血統」とするブラッドスポーツの概
念を覆すようなタイトルであり、全
レースに強いという「究極のレース
鳩」を追求したものだ。そのため日本
AP賞は「レース鳩の最高賞」と呼
ぶにふさわしいと言えよう。

受賞範囲は「会長賞」、「KBD B会
長賞」のように最高成績を収めた1羽
ではなく「10羽」。規程をクリアした
レース鳩を3レースの合計入賞率の
良い順にランキングしていく方式だ。
毎年延べ10万羽がこの賞レースに挑

戦しているものの、規程ク
リア——入賞率決戦に持
ち込むことのできるゼネラ
リストは、全国で20羽いる
かどうかである。また年
によってベストテンすら揃
わないこともあり、ブラッ
ドスポーツの法則を無視す
ることが、いかに難しいこ
とかを物語るデータだ。

令和6年度は、22羽が
日本AP賞の入賞率決戦
に駒を進める中、受賞でき
るか否かのボーダーは、ま
たしても「9%台」となっ
た。うち昨年の全国2位鳩が2年連
続ベストテン入りという歴史的快挙
まで生まれる——。

一方、注目すべき頂上決戦は、前年
の全国1位以上の入賞率をマークし
た4羽で行われた。唯一「3%台」に
到達した**向後金治鳩舎(東総) 作翔**
の「23LK06258」が、アタマ一
つ抜けた形で全国1位——「日本一の
レース鳩」に選出される。なお同鳩
舎が所属する千葉東連盟は、全国屈
指の激戦区として有名であるが、それ
ゆえか、日本AP賞の全国1位を手
に入れた者はいない。向後鳩舎、そし
て「23LK06258」が、地元鳩界第
1号となったというわけだ。



★今年、GPを終えた時点で**向後金治鳩舎(中央)**は骨折してしまい、全く管理ができない状況に…。同じ連合会の**川野政秋氏(左)**がサポートに入ったことで、桜花賞の参加が実現し、この度のエポックメイキングが生まれた。“連盟史上初”に対して川野氏、そしてレース運営に携わった連合会長の**川口幸男氏(右)**への感謝は大きい。

血統的裏付けをもって生まれた アベレージヒッターの「極み」

エポックメーカーとなったこの1羽
の翔歴は、お世辞にもインパクトあ
るものではなく、向後鳩舎からした
ら伏兵によるサプライズといったと
ころかもしれない。しかしシルバーエ
クセレントビジョンの認定やKBD B
会長賞連盟1位とあわせてAP三冠
を果たしており、アベレージヒッター
はアベレージヒッターでも「最高到
達点」あるいは「極み」といったこ
ろであろう。

血統を紐解けば、東日本CH総合
5位の直仔にあたる父親には、ブ

令和6年度 日本エースピ 作翔者・向後金治鳩舎(千葉東)

日本鳩レース界最激戦区・千葉東連盟初にして待望の



作翔者・向後金治鳩舎(東総)のプロフィール

■鳩歴/51年 ■レース歴/50年
■鳩舎規模/種鳩12坪300羽・選手鳩8坪200羽
■主力系統/神田輸入系、中田ボルドー系、白鶴系
■代表翔歴/東日本CH総合5位、7位、8位 GP総合優勝3回

レース歴50年以上の大ベテラン・向後金にしている競翔家だ。東日本CH3年連続ベが日本エースピジョン賞全国1位に選出。鳩誕生は史上初である。前述の作翔者のスは向後鳩舎にとって趣味人として最高の

ルーエース」という11年オリンピックアード中距離部門ベルギー代表がダイレクトに絡んでいる一方で「バリ」(W H Z B長距離ナショナルAP賞1位)、「グレイ」(※万羽レース優勝3回)、「グライネディルク」(※若鳩ワイルドCH5位)の他、日本AP賞をあまたに輩出している(※24年4月号27頁参照)。「ガニバル」(※K B D B中距離ナショナルAP賞1位)の租であるD & L・ファンダイクの「グラボー」(※短距離レース優勝3回)

や2億円以上でハンマープライスされた「ニューキム」(※K B D B若鳩超中距離ナショナルAP賞1位)を生み出したガストンの銘種鳩「カースブル」といった世界的APメーカーたちの銘血までも直に脈を打つ。対して母親は奥住豊鳩舎の「CHエースクイン」(04年日本AP賞全国1位・総理大臣賞全国優勝)が、そして作出者である新井繁鳩舎による本年度のK B D B会長賞全国優勝と東日本CH総合優勝の二冠——「白鶴トッ

プクイン」を誕生させた「白鶴GN号」×「白鶴天塩号」という黄金交配が「白鶴247」を介して組み込まれている上、すでに血統書からその名は消えてしまった「白鶴CH号」(※83年アカデミー賞ナショナルAP賞長距離部門全国1位)という「知られざる日本一の長距離AP」の血までも流れている。

またナナメで見れば、規程レース次第で日本AP賞全国1位クラスの翔歴を誇る「白鶴エースクイン」や09年の総理大臣賞・南関東地区1位の「白鶴カップクイン」まで確認可能! 果たして「日欧」によるAPファクトリーの融合というわけだ。レース歴55年となる向後鳩舎は、「北輝系」「若大将系」「神田輸入系」など時代、時代によって主力系統をおいてきた。しかしここ近年は趣味の二環という姿勢に徹しており、あらゆる飛び筋を活用しての鳩作りにピジョンスポーツの楽しさを見出している。ゆえに今回の日本AP賞全国1位誕生は、前述の因果による血統物語だけで充分満足、堪能できたというわけだ。

果たして「レース鳩の日本一」という特大の「金星(VENUS)」を挙げた向後鳩舎。イチ趣味人として「幸甚の極み」であったことであろう。



23LC00448 “錦亀リュウサメ”

BW ♀ 北澤利明鳩舎作翔

24年春平成千葉連盟Rg 420K2,944羽中総合 6位

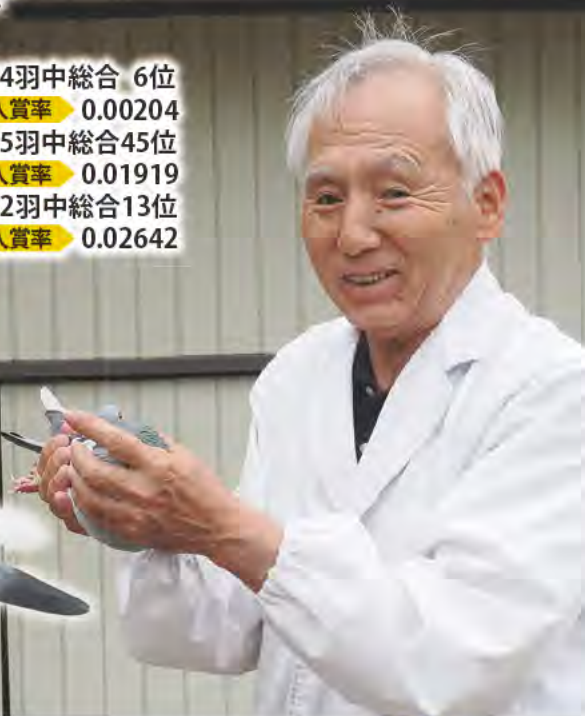
入賞率 0.00204

平成千葉連盟地区N 564K2,345羽中総合45位

入賞率 0.01919

平成千葉連盟桜花賞949K 492羽中総合13位

入賞率 0.02642



23LC00448 北澤利明鳩舎
(平成千葉連盟・常総中央連合会)

合計入賞率 0.04765



***令和6年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞2位**

- 19LC01319 BWP 北澤利明作翔 20年春Rg総合2位
- 14LC10194 B 北澤作 直仔/GP総合3位
- “ジダン”(06年カルカソンヌIN優勝)の直仔×
- “フォレストガンブジュニア”(12年ポーIN優勝)の娘
- 14LC10258 B 北澤作翔
- “バルセロナ”の直仔×“クライネ・ジジ”の重近親
- 16LC08193 B 北澤利明作 直仔/Rg総合6位他人賞多数
- 同腹の直仔/“錦亀メイ”(19年地区N総合優勝)
- “ディアモン”B13-3148653 PB ガビー・ファンデナール作
- “ロナウド”B05-3006631 B ファンデナール作翔
- ブリーブN218位、モントーバンN71位他人賞
- “ヴィットバイク”(“クライネ”直仔)の直仔×
- “ヴァイタル”(“プリクセム”の母方祖父)の孫
- B07-510704 BC ガビー・ファンデナール作
- B15-3148467 B ジノ・クリケ作 “プリクセム”3重近親
- “デヴィル・プリンス”(14年モンリユソンN優勝)×“プリクセム”の近親(直仔×孫)

エースの力を示して全国2位
来年はさらに上を目指し現役続行?

前年の日本A P賞全国1位の入賞率を上回ったことで、95年以來2羽目の頂点誕生を期待していた。

惜しくも全国2位となった「23LC00448」は、Rgで1度2番手になっただけで、他総合レースにおいて自鳩舎トップに帰還。作翔者・北澤利明鳩舎(常総中央)にとっても、また客観的にみても能力、存在感ともに「エース」と言つて過言ではない。

血統は、前述の日本A P賞全国1位鳩「ブレンドパワー号」と直接的な繋がりはないものの、

北澤鳩舎にとつて源鳩にして、もはや「屋号」である「錦亀」の因子は確実に絡んでいる模様。他、エティエネ・デヴォスの「クライネ・ジジ」(*97年KBD B長距離ナショナルA P賞1位)と「ジダン」、フライアルデンホーウエンの「フオレストガンブジュニア」、フロリゾーネの「ド・バルセロナ」(*99年バルセロナN優勝)、ガビー・ファンデナールの基礎鳩「ヴィットバイク」と「プリクセム」(*ポワチエP優勝他)、そしてジノ・クリケの「デヴィル・プリンス」——とヨーロッパ鳩界に造詣が深いとあつて、世界に名だたる超銘鳩群像が見られる。

近年は母方祖母の「ディアモン」×B15-3148467」という「クライネ」(*ガビー・ファンデナール源鳩)の4重近親交配の活躍が目立つており(*上記血統書参照)、ここに新たな実績を重ねたことで、北澤鳩舎の手応えはさぞ強かつたに違いない。

しかし冒頭の気持ちから一転の結果を受けて、「23LC00448」の現役続行が決定。「2年連続日本A P賞」、そしてリーチをかけている「スーパーエクスセントビジョン」の認定を目指し、25年も大空に羽ばたかせる予定だ。そして大胆かつ勇敢、そして北澤鳩舎の鳩人生最大のチャレンジが成功した暁には、日本鳩レース界を大きく賑わしてくれることであらう。——この1羽に刮目せよ!



22BA07477 “のぞみナショナルAP477号”

BC ♂ 小笠原信悦鳩舎作翔

24年春青森連盟Rg 420K2,312羽中総合96位

青森連盟地区N 619K1,268羽中総合 5位

青森連盟桜花賞1007K 304羽中総合 2位

入賞率 0.04152

入賞率 0.00394

入賞率 0.00658



22BA07477 小笠原信悦鳩舎
(青森連盟・青森中央連合会)

合計入賞率 **0.05204**



***令和6年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位**

- 17BA09241 BC 小笠原信悦作
- 07BA21585 B 浪内豊代作
- 全妹の直仔/15年浜田CH1000K当日総合2位
- 全妹の曾孫/24年スーパー九州1300K総合優勝
- 000-6115705 BC フランス・スケルケンス作 “ドラキュラ”×“フアンシー”
- 005-6336518 B ファンダイク作
- “カニバル”の直仔×“ランボー”孫
- 18BA04867 BC 鈴木眞己作
- “マキシミリアン”(95年オールナン2位)曾孫×
- (下記19BA14222の父×“みつえ号”の娘)
- 21BA00503 BC 小笠原信悦作
- 19BA14222 BC 小笠原作
- “マキシミリアン”の直仔×“みつえ号”(08年秋Rg総合優勝)
- 11BB01300 B 藤森泰光作
- 08年鳥取GP連盟3位×
- “メイ・ウララ”(00年スーパー九州1200K総合優勝)の孫

歴代トップタイの全国3位!
その翔歴——ミスターAP!

桜花賞が5月3日と、比較的早く開催されたこともあり、日本AP賞全国1位候補に1番に名乗り上げたのが、**小笠原信悦鳩舎(青森中央)** 作翔の**「22BA07477」**である。3レースで叩きだされた入賞率は「5%台」。前年の全国1位以上の高数値とあつて、東北北部ブロック連盟初となる「日本一のレース鳩」の誕生に自鳩舎のみならず、鳩友たちの期待も高まったことはいわずもがな。しかし本年度はレベルが高く、結果、全国3位、とはいえブロック連盟では最高位タイ、2羽目となる青森連盟では問答無用に歴代トップの成績

だ。規程3レース中地区N、桜花賞で特筆すべき成績を収めており、KBDDB会長賞でも全国3番目の好入賞率を算出。冒頭の理由からこちらでも全国優勝第1候補だったことを追記しておこう。

「22BA07477」は、青森連盟のトップレースマン・鈴木眞己鳩舎(五所川原)の「みつえ号」、同じくヤンセンの「ベルオーガー」の血が強く流れる「09AAA0193(マキシミリアンの直仔)」のインブリードで作られ、後者の「マキシミリアン」でみれば三重近親交配だ。このパターンは小笠原鳩舎にとつての王道式。ちなみに前者の「みつえ号」は昨年、日本AP賞候補を誕生させた他、大元となる鈴木鳩舎の源鳩「ジロガー82」、ブルージュ82からは青森連盟最初の日本AP賞(02年)が生まれている。

一方、父方にはここ近年で最も協会三大AP賞を輩出させているファンダイクの「ガニバル」の血が脈を打っており、それにあたる「B0516336518」は、数々のCHを世に輩出。今年にいたつては1300Kとなるスーパー九州の覇者まで生み出していることは、有名な話だ。

作翔者の小笠原鳩舎は、今年でちょうどキャリア10年。節目の年にエポックメイキングを果たし、満悦の様相であるが、このトリ以外にもう1羽日本AP賞の規程をクリアしている。戦力が極まっている可能性が大きいことから「競翔家として」更なる飛躍を果たすかもしれない。

22RB05832 “福光エース”

BC ♀ 吉田憲二鳩舎作翔

24年春北陸南連盟Rg 395K936羽中総合 8位

入賞率 0.00855

北陸南連盟地区N 568K687羽中総合20位

入賞率 0.02911

北陸南連盟桜花賞820K197羽中総合 3位

入賞率 0.01523



22RB05832 吉田憲二鳩舎 (北陸南連盟・金沢連合会)

合計入賞率 0.05289



*令和6年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞1位

- 150H03545 BC 金成義範作
 - 110H02125 B 斎藤作
 - 99HB20102 BC 宮本浩幸作翔 フーベン父子系の孫
 - 00年地区N北関東ブロック五地区連盟9,985羽中総合優勝
 - 01HB13834 BWP 宮本作 フーベン父子“ソニー”の孫
 - 02年八郷・オリエンタルカップ700K優勝
 - 120X12711 BC 安齊一善作 カイパー兄弟系
 - 08年菊花賞400K連盟優勝×11年300K総合3位
 - 21RB00706 BC 吉田憲二作
 - 180H09906 BCW 渡辺達也作
 - 110H01469 B 渡辺作 純三佳ロフト系
 - “ダイヤモンド”の近親×(“ホウデンタイプ”×“スーパーブライセン”)
 - 180H09295 DCW 渡辺作
 - “タルゴ”(デブクワ兄弟作)×“ボルシェ911”(ミューラー作)近親
 - 14RB07551 B 吉田作翔 16年桜花賞総合優勝
- 異父妹/“雨姫”(18年日本AP賞全国1位)

能力は本年度トップクラス!
“北陸魂”2年連続受賞!

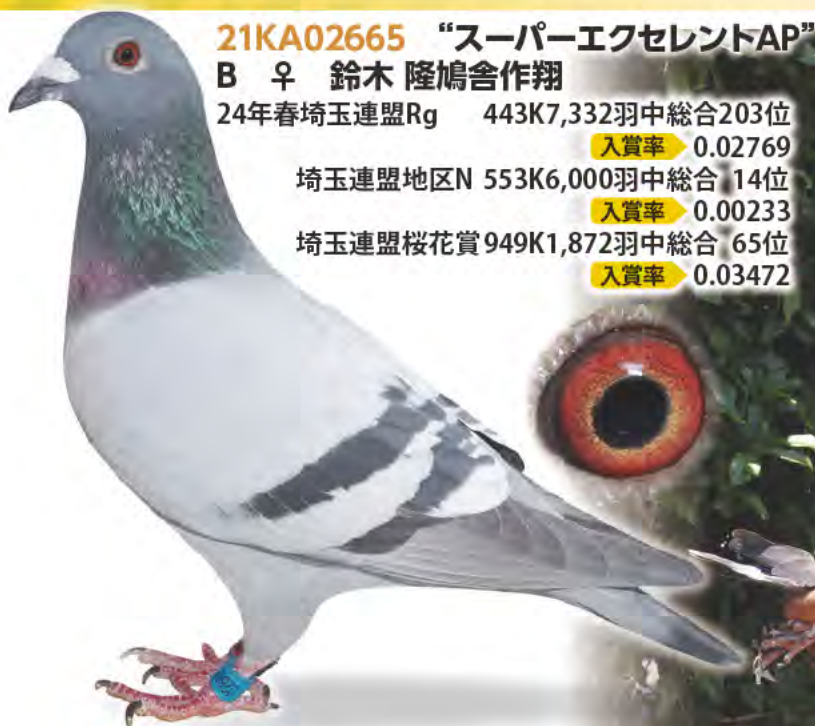
18年、“雨姫”によって日本AP賞全国1位を獲得し、一躍その名声を全国区に広げた吉田憲二鳩舎(金沢)。昨年先輩競翔家の杉田政雄鳩舎(福井県)の下で、その同系が日本AP賞の全国1位に選ばれたことに刺激を受けたのか、6年ぶりに規程をクリア。しかも前述の“文殊連峰号”を上回る好入賞率だった。自ずと自鳩舎2羽目の“日本一のレース鳩”誕生に期待したもの、悔しくもそれは叶わず。全国4位での受賞となった。

とはいえ平均分速率で規程3レースの成績をみれば、「9.8%」と、今年の

のベストテン鳩でナンバーワンの数値をマークしている。受賞鳩「22RB05832」は能力的にみれば——「日本一のレース鳩」に匹敵するといわれた。鳩レースはブラッドスポーツであるため、冒頭の「ファースト」との因果が気になるところだが、母方祖母の母親「09RA01186」が2羽とも共通して絡んでいる。下道隆章鳩舎作である稚内GNの入賞鳩は、種鳩としても優れ、直仔にその“雨姫”と今回の受賞鳩「22RB05832」の母方祖母となる桜花賞総合優勝鳩を誕生させている。ルーツは、北陸ブロック連盟初の日本AP賞全国1位の鳩「ガモメエース」や稚内GN総合優勝2回の「ガモメミラクルクイン」を生み出した「78BB6476」(*デーゲンスの「ブラウ近親」)であり、北陸の血統物語そのものだ。

これはあくまで4分の1であり、残り3分の3は福島鳩界の飛び筋がメイン。フーベン父子の筋も近親で絡んでいる一方で、「マジックヒーロー」や「ダイヤモンド」(00年ダックスN最高分速)、「ボウデンタイプ」(95年サンパンサンN最高分速)など、日本鳩レース界を席巻した三佳ロフト(元新須賀川)のスーパーCHが奥底に脈づいている。

吉田鳩舎はこの最新に能登半島地震の復興を願って、“福光エース”と命名した。種鳩として、また血として成功を収めている“雨姫号”と同系とあつて、同鳩舎に幸せをもたらす希望の光となつてほしいものである。



21KA02665 “スーパーエクセレントAP”

B ♀ 鈴木 隆鳩舎作翔

24年春埼玉連盟Rg 443K7,332羽中総合203位

入賞率 0.02769

埼玉連盟地区N 553K6,000羽中総合 14位

入賞率 0.00233

埼玉連盟桜花賞 949K1,872羽中総合 65位

入賞率 0.03472



21KA02665 鈴木 隆鳩舎
(埼玉連盟・埼玉北葛連合会)

合計入賞率 **0.06474**



遺伝の法則で生み出された
史上8羽目の大器！

***スーパーエクセレントビジョン認定**

- 16KA39322 BC 鈴木 隆作
- 12KA00185 BC 鈴木作翔
- 東日本稚内GN総合50位・連盟6位
- “GN24” (06年東日本稚内GN連盟優勝) ×
- GP総合10位 (*母/“キャノンボーイ” × “スプリングストーム”)
- “ピクトリー-600” 13KA42792 BC 鈴木作翔
- 14年600K総合優勝 “キャノンボーイ” (“スプリングストーム”の孫)孫
- 19LC10205 B KANDA LOFT作
- “ベルナルド” 16LC00183 B KANDA LOFT作翔
- 17年春平成千葉連盟Rg総合優勝 **会長賞**
- 直仔/18年秋平成千葉連盟400K総合優勝
- 17LC01049 B KANDA LOFT作
- B15-6048684 ガストン作 “カースプール” 近親
- NL15-1850137 B ホーイマン作
- “ハリー” 全兄弟 × “ハリー” の娘
- 曾孫/20年春Rg総合優勝、**20年会長賞**

日本鳩レース界に新たな超銘鳩誕生
——といったところであろう。規程3
レース全4%内入賞で日本AP賞の全
国5位に選出された**鈴木隆鳩舎(埼玉
北葛)** 作翔の「**21KA02665**」は、
21年秋にRg、22年と24年にGPでそ
れぞれ5%内入賞し、「スーパーエクセ
レントビジョン」に認定。APの最高賞
ともいえる「二冠」を成し遂げたのは、
鳩界史上8羽目だ。32年の歴史の中で
——となれば、いかに困難であり、ま
た価値あるものか、想像するに容易い
である。

「21KA02665」の配合は、メン

デルの法則でいうところの「二代雑種」
だ。600K総合優勝の直仔である父
親は、鈴木鳩舎の源鳩2羽のうち「ズ
プリングストーム」(00年600K総合
優勝)の3重近親。

これに対しKANDA LOFT作の
母親も総合優勝&会長賞の二冠鳩の娘
である一方で、ガストンの「カースプール」
の多重近親となっている。果たして、雑
種強勢」という遺伝の法則は、鳩レー
スにも反映可能かという一つのエビデ
ンスとなりそうだ。

他にもホーイマンズの超銘鳩「ハリー」
が全兄弟交配で絡んでおり、アタリ配
合「ゴングブリクセム」(*ガビー・フ
ァンデナールの「ブリクセム」の直仔)
×「ディルクイエ」(*コップマンの「グ
ライン・ディルク」の娘)の近親まで
搭載。その「NL15-1850137」は、
埼玉連盟にて総合優勝だけに止まらず、
コロナ禍によって受賞は果たされなかつ
たものの事実上の「会長賞全国1位」
まで輩出。種として血統としてその威
力は特筆すべきものだ。

作翔者である鈴木鳩舎は、13年に日
本最優秀鳩舎賞を選出されてから、「日
本優秀鳩舎賞」の常連として君臨し、
本年度も受賞。まさしく日本鳩界を代
表する超強豪である。日本AP賞の受
賞は意外にも初とのことであるが、つ
まり未だ発展途上ということ。「至
高のレース鳩」が生まれるということ
は、それだけ血統が極まっていることを意
味しており、全国を舞台にますますの
活躍が見られそうだ。



22MM00375 “ハリーシャンテリー”

BC ♀ 及川 茂鳩舎作翔

24年春東京中連盟Rg 389K663羽中総合8位

入賞率 0.01207

東京中連盟地区N 568K454羽中総合3位

入賞率 0.00661

東京中連盟桜花賞980K 82羽中総合4位

入賞率 0.04878



22MM00375 及川 茂鳩舎
(東京中連盟・新日本連合会)

合計入賞率 **0.06746**



***令和5年度日本エースビジョン賞全国2位**
シルバーエクセレントビジョン認定

- 18MM03280 BC 及川 茂 作
- “キングハリー” NL16-1663903 BC ホーイマンス 作
- “ハリー” (WHZB長距離ナショナルAP賞1位)の直仔×孫
- 異母兄弟/“ニューハリー” (万羽レース優勝2回他)
- “ファイアーハリー” NL15-1850075 BC ヤン・ホーイマンス 作
- 上記“ハリー”×“ハリー”全姉の娘
- “スーパースターシャンテリー”号 13MM00747 BC 及川 茂 作翔
- 14年春GP800K3,238羽中総合6位
- “シャンテリー48号” 08MM03048 B 及川 茂 作
- “シャンテリースプリンター”号×“シャンテリーホープ”号
- 全兄弟/日本AP賞全国2位2羽(06年、10年)
- 全妹の娘/16年日本AP賞全国1位
- 全兄の孫/17年日本AP賞全国1位&KBDB会長賞全国優勝
- B09-6241232 BC ヘルクモース 作
- “スプリント”×“スプリント”の孫

引き続き、こちらも日本鳩レース界に新たな超銘鳩誕生というフレーズになるであろう。全国6位に選出されたのは、APマスターこと**及川 茂鳩舎(新日本)**作翔の「**22MM00375**」である。このトリは昨年の日本AP賞全国2位鳩。これまでの歴史で、2年連続の受賞はない——という話を耳にしたことで、及川鳩舎の勝負魂に火が付き、現役続行。翌秋から復帰するも毎レースドキドキで、かつ成績も際立ったものがなかったため、23年秋は途中でリタイアしている。本番の24年春はというと、規程3レースの初戦・Rgで4番手に帰り、総合

三元交配で体現！
史上初にして唯一の2年連続！

8位に入賞。幸先の良いスタートを切ると、次戦の地区Nではさらに順位を挙げ、総合3位入賞を果たす。2年連続に王手となれば、裏レースとなるGPにあえてリスクを負う必要はない。ジャンプして、桜花賞に臨んだ。そして結果は自鳩舎2番手に帰還し、総合4位に入賞——前年とほぼ同じ入賞率で、日本AP賞の規程をクリアし、受賞に至る。「22MM00375」は、これまで日本AP賞を10羽以上輩出してきた「APファクトリー」こと及川シャンテリー系黄金交配、二代目の孫鳩である。必勝筋にマルセリスのズプリント(*オリンピアード短距離部門ベルギー1位)、ホーイマンスの「ハリー」のそれぞれ近親を絡ませたような配合式となっており、二代目も紐解けば、ヤンセン兄弟最後のCH「ド・シャンテリー」(*89年シャンテリー優勝)——の父親の重近親だ。ズプリント、ハリー、そしてド・シャンテリーによる三元交配という遺伝の法則にのっとりて実作られているのである。親を超える子供を作るといふこの種強勢は本年度だけで、スーパースターエクセレントビジョンとの二冠、そして日本鳩界初にして唯一の誕生させた。これは超銘鳩作りの大きなヒントになりそうである。

及川鳩舎自身はというと、今シーズン、これほどまででないほど刺激的だったと回顧している。愛鳩家、勝負師として限りなく純であることから、ドキドキを再び求める可能性は大きく、その結果さらなる伝説を生み出してしまいかもしれない。



22KA01469 “ハリマオエース”

B ♀ 小田義光鳩舎作翔

24年春埼玉連盟Rg 455K7,332羽中総合323位

入賞率 0.04405

埼玉連盟地区N 565K6,000羽中総合 87位

入賞率 0.01450

埼玉連盟桜花賞961K1,872羽中総合 33位

入賞率 0.01763



22KA01469 小田義光鳩舎
(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)

合計入賞率 **0.07618**



***令和6年ベルギー王立愛鳩家協会連盟3位**

- 15KA05882 B 新井 繁作
- 08KA52486 BC 中田幸雄作
直仔/17年桜花賞総合優勝・東日本CH総合9位
- “アズキーキング” 05HA06398 BC 小倉次郎作翔
- 06年ジャパンカップ総合2位
- “クラウド・クイーン” 07KA12750 BC 中田作翔
- 07年秋Rg総合優勝
- 父/“フジクライネン”(99年会長賞/“クライネン”近親)×
母/“白鶴GN号”×“白鶴天塩号”)
- 13MM02731 BC 新井作
“白鶴カップクイン”(09年総理大臣賞南関東地区1位)の娘
- 13KA02996 B 小田義光作
- 08KA41349 B 小田作
07年600K総合13位(ファンタスト系)×
01KA69067(ファンブリアーナ系基礎鳩)
- 06LC16365 B 神田亮介作 直仔/11年秋500K優勝

2つの白鶴系黄金交配まで搭載!
“ジンシニシティー”の体現者

鳩レースのメッカ・埼玉連盟において総合優勝2回、連盟優勝1回の実績を誇る**小田義光鳩舎(埼玉北辰)**。今年は「日本優秀鳩舎賞」の規程をクリアした新進気鋭——同鳩舎作翔の「**22KA01469**」が日本AP賞の全国7位だ。

成績的には、ゼネラリスト特有のアーレージヒッターである。4分の1に「ファンタスト」、「ファンブリアーナ系」で形成された自鳩舎の飛び筋「ハリマオ系」で、残り4分の3が他鳩舎の勝ち筋といった配合式で構成。父親は、鳩友にして埼玉連盟を代

表する強豪の新井繁鳩舎作(埼玉北辰)で、「白鶴カップクイン号」という総理大臣賞を介して、今回の日本AP賞全国1位と同じ「白鶴421(*「白鶴号」の直系)×「上田678」——白鶴系ゴールデンペアIIの血が流れている。また血統書をさらに遡れば、中田幸雄鳩舎(埼玉南部)の「クラウド・クイーン」から「白鶴GN」×「白鶴天塩号」という白鶴系でも初代黄金交配の直の因果関係が解説可。いわゆるこのゴールデンペアIからは、日本AP賞の全国1位、本家の「KBD B会長賞全国優勝」と本年度の協会APのトップが2羽も誕生している。同じくこの「クラウド・クイーン」には、「フジクライネン」という会長賞を経由して、現在日本鳩界で大ブームを巻き起こしている「バリ」の太元の1つ、ガビー・ファンデナベールの源鳩「グライネン」の血が強く流れており、「22KA01469」には、他と同様にAP作りの最高素材が使われていることがわかる。

残り4分の1は神田亮介鳩舎(鎌ヶ谷中央)作で、その主力の1つ「ガイ・ス・ペーター」こういった「切れ味」ある飛び筋が見られるもの少なからず「22KA01469」では覚醒しなかった印象である。——

果たして小田鳩舎にとって初となる日本AP賞は、「白鶴系のジンシニシティー」の体現者といったところであろう。



23KA03684

BC ♀ 永島祥光鳩舎作翔

24年春埼玉連盟Rg 406K7,332羽中総合224位
埼玉連盟地区N 534K6,000羽中総合296位
埼玉連盟桜花賞930K1,872羽中総合 5位

入賞率 0.03055

入賞率 0.04933

入賞率 0.00267



23KA03684 永島祥光鳩舎
(埼玉連盟・埼玉幸手連合会)

合計入賞率 **0.08255**



**期待のエースが
サプライズ受賞!**

全国8位は引き続き埼玉連盟の
レースマンである。永島祥光鳩舎(埼
玉幸手)作翔の「**23KA03684**」

が選出された。この1羽は昨秋のR
8で総合10位に入賞したことで見染
められ、期待の1羽として今春を参
戦。海越えのGPで総合19位入賞と、
再び頭角を現したことで、「真なる
エース」に昇格する。この1羽のコ
ンディションのために最も良いとさ
れる「独身」を意図的に作り出すほ
どまでに期待値が高かったようだ。
そして結果は1番手で桜花賞から
帰る、総合5位入賞。併催の東日本

- 19HA01591 BCWP 一文字ロフト作
- 13HA01012 B 一文字ロフト作 12年JC総合9位×下記「一文字ナショナル2」
- 「一文字ナショナル2」09HA04903 BCWP 一文字ロフト作翔
- 10年茨城連盟地区N700K総合優勝
- 曾孫/24年東日本稚内GN総合優勝 全姉妹の娘/15年日本AP賞全国1位
- 「スーパーダックス」B98-3283837 PBWP
- ダックスIN5位、7位 孫/10年日本AP賞全国1位
- 「パールビナクイーン」NL05-1230818 RC フェルデルマン父子作翔
- 07年ベルビニャンIN優勝 「ローイ50」の筋
- 孫/19年東日本稚内GN総合優勝
- 曾孫/東日本稚内GN総合優勝2羽(16年・21年)
- 21KA30845 BC 永島祥光作翔 22年春東日本CH総合42位
- 20KA20560 B 山口邦夫作
- (C・デバック、J・ファンネノ各系)×優勝4回(レヒースト作)の娘
- 17KA07477 BC 松森孝則作 永島使翔 18年地区N700K総合15位
- 「楊飛治」(07年東日本稚内GN静岡連盟1200K2位)の直仔
- ×(「ドル・バルセロナ」の直仔×「スーパーベン」近親)

CHではマーク鳩賞で堂々1位を飾っている。永島鳩舎としてはここで「23KA03684」の物語は終わっていた——が日本AP賞の受賞!まさにそれは同鳩舎にとつて青天の霹靂だったと言えるよう。

永島鳩舎の本来の主力は、広瀬富男鳩舎(栃木)の飛び筋と「加藤50号」(※75年東日本CH総合2位)のラインとのことだが、日本AP賞は完全なる異血交配。父親は一文字ロフト作で、ナンバーワンアタリ配合と呼び声の高い「スーパーダックス」×「パールビナクイーン」の近親鳩だ。このカッパルからは宗家・一文字ロフトの本懐——東日本稚内GN総合優勝はもとより、日本AP賞の全国1位鳩まで生まれていることは至極有名な話。しかも、それぞれ別の交配でも同様の成果を残している。

これに対し母親は、自身の飛ばした記録鳩だ。その上の代には仕事の転勤先だった秋田で一一緒にビジョンスポーツを楽しんだ松森孝則鳩舎(能代中央)の作出鳩が見られ、この1羽には、日本AP賞の輩出率が高いロベルト・ベンの「スーパーベン」(※バルセロナ・フランスN優勝、2位、3位他)の血が流れている。血統を掘り下げてみると、やはり然るべき構成になっており、「APの申し子」といって過言ではないだろう。



23MM00563 “トリプル・ワインシャンテリー号”

S 女 及川 茂鳩舎作翔

24年春東京中連盟Rg 389K663羽中総合3位

入賞率 0.00452

東京中連盟地区N 568K454羽中総合2位

入賞率 0.00441

東京中連盟桜花賞980K 82羽中総合7位

入賞率 0.08537



23MM00563 及川 茂鳩舎
(東京中連盟・新日本連合会)

合計入賞率 **0.09430**



***令和6年度会長賞**

- “シャンテリーデカプリオ号” 15MM03058 S 及川 茂作翔
16年春地区N600K総合優勝 15年秋SC100K総合43位
- “ペンシルデカプリオ号” 14KA19981 PB 富野次夫作
“ディカプリオ”の近親(*直仔×孫)
- “ミス・シャンテリー号” 11LC02017 S 及川作・委託
ワンロフトレース300K優勝、200K5位
“シャンテリーNo.1” (“シャンテリーシルバー号”の孫) × “プリンセスインパニス”
全姉の娘 / **17年日本AP賞全国1位、KBDB会長賞全国優勝**
- **“ワインシャンテリー号” 13MM00015 B 及川 茂作翔**
14年KBDB会長賞全国優勝、日本AP賞全国3位
- “ワインレッドシャンテリー号” 05MM00030 RC 及川作翔
05年秋SC120K2,387羽中総合優勝
全姉 / “シャンテリーシルバー号” (及川シャンテリー系源鳩)
- “ヤンセンシャンテリー号” 08MM00045 BC 及川作翔
09年中距離AP賞連盟1位、**会長賞**
父 / “シャンテリーシルバー号” × “スプリンター号”

本命のエースが滑り込み！
APPマスター初のシルバー当選！

日本AP賞最多受賞者である**及川茂鳩舎(新日本)**は本年度、同賞の規程を3羽クリアし、2羽が当選となった。うち1羽が先ほど紹介した2年連続のエボククメイカーなのにに対し、残り1羽——全国9位に選出されたのが、**「23MM00563」**である。

このシルバーはRg、地区Nの2レースでベスト3入賞。会長賞の受賞を決めた。翔歴から全国1位が脳裏をよぎったものの、周囲の情報から最有力候補が別にいると知ると、現役続行を決断。会長賞経由の日本AP賞が1番頂点に近いということから、大本命に

スでベスト3入賞。会長賞の受賞を決めた。翔歴から全国1位が脳裏をよぎったものの、周囲の情報から最有力候補が別にいると知ると、現役続行を決断。会長賞経由の日本AP賞が1番頂点に近いということから、大本命に

昇格する。

もう1羽の日本AP賞——「22MM00375」は成鳩であったこともありGPはジャンプしたもの、「23MM00563」の場合、一歳鳩ということでは海越えを経験したほうがいいと判断し、連投しての桜花賞だった。これが功を奏したかどうかは定かではないが、日本AP賞の規程ギリギリとなる5%内7位で帰還…。日本一のレース鳩候補が二転、滑り込みでの受賞となる。

血統は及川シャンテリー系黄金交配の「原初」である「シャンテリーレッド」(*「ジャンテリー」の孫) × 「ジャンテリーブルー」(*「ジャンテリー」異父弟の娘) とその直仔にして初代——「ジャンテリーシルバー号」(*200K総合優勝) × 「ズプリンター号」(*「ヨング・アティースト」の近親) として3代目となる「ジャンテリーN01」(*「ジャンテリースプリンター号」 × 「ジャンテリーホープ号」 × 「プリンセスインパニス」) の3代が絡む重近親交配になっている一方で、残り4分の1が異血——ファンダイクの種鳩として有名なレオ・ヘレマンズの「ディカプリオ」。これは及川鳩舎にとってホームページで紹介しているようにインブリードにおける王道式となっている。

冒頭の通り、日本AP賞の受賞鳩を歴代最多羽数を輩出してきたわけだが、シルバーは初めて。遺伝の法則でも栗色は主翼の改良に必需とされているとあって、頼もしくAPメーカーが新たに加わったということであろう。



22BB07922 “寿エース22号”

BC ♂ 和田兼一鳩舎作翔

24年春秋田連盟Rg 414K2,036羽中総合61位

秋田連盟地区N 632K1,575羽中総合39位

秋田連盟桜花賞893K 317羽中総合13位

入賞率 0.02996

入賞率 0.02476

入賞率 0.04101



22BB07922 和田兼一鳩舎
(秋田連盟・秋田連合会)

合計入賞率 **0.09573**



*** シルバー・エクセレント・ビジョン認定**

- 20BB12591 RC 和田兼一作
- 11BB03234 BLKC 和田作
- 同腹 / “寿エンジェル20号”
(12年下関GN総合優勝)
- 06BB13292 BLKC 和田作
- “ファーストレディ”(88年稚内1400K総合優勝)の直系
- 10BB06527 BLKC 和田作
- 19DA20762 RC 和田作 300K優勝×200K優勝
- 19BB13896 シャーリー 保田和成・和田兼一共同作
- 17DA16259 DC 女屋孝雄作
- “グランドナショナル・ドル”
- 07HT06069 DC 水野 満作 江田 茂使翔
- 東日本稚内GN北関東栃木連盟翌日唯一羽帰り優勝
- 11DA13968 DCW 女屋作 “パースティンドル”の娘
- 12DA05231 シャーリー 女屋作 純ヤンセン系
- 500K総合優勝の娘

「レース鳩の最高賞」最後の1枠は、**和田兼一鳩舎(秋田)作翔の「22BB07922」**である。この1羽はRg、地区Nで「3%内」に入賞を収め、同賞を狙えるのでは、ということ成鳩でありながら、規程レースの桜花賞を選択。期待のエースとして参戦したところ当日帰りを果たし、打刻時間からベストテンには絡めると読んでいたが、結果は番外となつてしまった。が、それでも合計で「9%台」にとどめ、はれて狙い通り、日本AP賞の受賞を決める。なお和田鳩舎にとつて、16年の「菊花賞全国最高分速」に続いての協会タ

100K~900Kまで5%内!
秋田発のスーパーゼネラリスト

イトル獲得だ。
「22BB07922」は規程3レース以外にも1000K優勝を含め、短距離レース全て5%内入賞。まさにスーパーゼネラリストである。血統は四国鳩界において伝説的銘鳩とされる「ファーストレディ(88年スリーワールド稚内1400K総合優勝)」の直系。サウスウェル、ゴードンの混成系となるレジエントは、和田鳩舎の下で前述の「菊花賞全国最高分速」だけでなく、今年のGNの総合優勝鳩を2羽も誕生させている。なお受賞鳩となる「22BB07922」の父方祖父が、12年の下関GN総合優勝鳩「寿エンジェル20号」の同腹だ。
これに対し母方は、女屋孝雄鳩舎の代名詞である「アールデン系」と「ヤンセン系」で構成。結果的に「主力系統×異血」という印象だが、筋の実績を見れば両親とも、翔歴に準じオールラウンドに活躍している。
さて秋田連盟からの日本AP賞は、実に12年ぶりのことで、今回で5羽目だ。その上位団体である東北北部ブロック連盟は、天候におけるスーパーコンピュターを活用することでCH、GNともに好帰還を演出しており、「1000K当日さえも常態化。理想のレース環境を作り出しており、その盛り上がりは国内屈指だ。今年は、和田鳩舎以外にも1羽——青森連盟から全国1位を狙えるほどの翔歴で日本AP賞を受賞している。来年以降、続々とスーパーゼネラリストたちを協会に送り込んでくるであろう。

令和6年度 日本エースビジョン賞 受賞圏外申請鳩&鳩舎

申請鳩	羽色	性	申請鳩舎	所 属	合計入賞率
18BA01439	B	♀	小笠原信悦鳩舎	青森連盟 青森中央連合会	0.12233
22LC02241	BC	♀	石井兄弟鳩舎	平成千葉連盟 千葉北星連合会	0.14616
22MM03091	B	♀	及川 茂鳩舎	東京中連盟 新日本連合会	0.15126
23MB03565	BC	♂	上原幸則鳩舎	東京西連盟 練馬連合会	0.15277
22EM01543	BC	♀	李 根浩鳩舎	神奈川みなと連盟 川崎連合会	0.12508
23PE03217	DC	♀	吉田三男鳩舎	愛知静岡連盟 東愛知連合会	0.14795
23PE02840	BC	♀	白井行弘鳩舎	愛知静岡連盟 東愛知連合会	0.09857
23SC04226	B	♂	東 茂行鳩舎	濃尾連盟 尾北第三連合会	0.10376
22XA11159	BC	♀	米田幸由司鳩舎	ニュー近畿連盟 なんば連合会	0.10683
22XB04279	B	♂	藤原多功磨鳩舎	兵庫県連盟 社連合会	0.12866
22RB06857	B	♂	北口純一鳩舎	北陸南連盟 金沢連合会	0.10131
22RB03634	BCW	♀	杉田政雄鳩舎	北陸南連盟 福井県連合会	0.14363

* 22年度版社員名簿順

日本AP賞全国1位・歴代受賞者一覧

* 11年と20年は受賞なし／所属は当時

年	愛称	脚環番号	羽色	性別	入賞率	受賞鳩舎(所属)
23年	文殊連峰号	22RB04092	BC	♀	0.05526	杉田政雄鳩舎 (福井県)
22年	スピキュール・エース	21PE02139	BC	♀	0.03328	白井俊也鳩舎 (東愛知)
21年	タイム・レジェンド21	19XY00146	BC	♂	0.03104	上野栄一鳩舎 (なにわ)
19年	マリントップエース	18HA14063	BCW	♀	0.03978	飛田輝明鳩舎 (茨城北)
18年	雨姫	16RB01437	BC	♀	0.03707	吉田憲二鳩舎 (金沢)
17年	シャンテリースプリント号	16MM00531	B	♀	0.01520	及川 茂鳩舎 (新日本)
16年	リトルシャンテリー号	15MM01451	BW	♀	0.01264	及川 茂鳩舎 (新日本)
15年	咲咲	14SA07169	BW	♀	0.03680	高山初夫鳩舎 (中京)
14年	千姫	13LC00705	B	♀	0.02750	鈴木明夫鳩舎 (常北)
13年	岩岩系ハンセーヌ340	12PA06340	B	♀	0.02409	岩倉安廣鳩舎 (静岡吉田)
12年	—————	11HS11040	BC	♀	0.02708	籠田 元鳩舎 (稲敷中央)
10年	モーニングエース	09MA05773	BC	♂	0.02203	宮内淑雅鳩舎 (東京一之江)
09年	スーパーローズ	07MA02146	BC	♀	0.00835	鈴木信義鳩舎 (東京南部)
08年	—————	07LH11732	BW	♀	0.04335	古川順一鳩舎 (市川南)
07年	北竜パーフェクト	06LC06249	BC	♂	0.01949	鈴木邦男鳩舎 (常総中央)
06年	絢綯(ケンケン)	05SA11510	BC	♀	0.02573	高山初夫鳩舎 (中京)
05年	怪物シャンテリー	04MM00503	B	♂	0.01729	及川 茂鳩舎 (新日本)
04年	CHエースクイン	02KA08794	B	♀	0.01110	奥住 豊鳩舎 (埼玉中央)
03年	チャールストンベガ	01XB02278	BCP	♀	0.01643	今井雅之鳩舎 (姫路)
02年	—————	01KA51598	BC	♀	0.00813	新戸廣次鳩舎 (埼玉)
01年	—————	00HL08494	BC	♂	0.05127	小室梅吉鳩舎 (N埼玉東部)
00年	ロマン無双II	97X04825	BCW	♀	0.02327	吉村竹恒鳩舎 (なにわ)
99年	セレクトエース	97SA29164	BC	♂	0.03689	香山光男鳩舎 (岐阜県)
98年	—————	96PE10511	BC	♂	0.04175	芙蓉ロフト (東三河)
97年	みちのくシルバーキング	96BF34956	B	♂	0.01370	橋本治夫鳩舎 (水沢)
96年	—————	95KA52725	BC	♀	0.01508	柴田博之鳩舎 (埼玉草加)
95年	—————	93LC17487	B	♀	0.03769	北澤利明鳩舎 (常総中央)
94年	カモメエース	92RA06731	B	♂	0.02066	上条秀雄鳩舎 (富山)
93年	いわき大和	90OH20408	BC	♂	0.02948	平子敏幸鳩舎 (いわき)
92年	—————	91PE03870	BC	♀	0.04347	芙蓉ロフト (東三河)

合計入賞率ランキング

順位	合計入賞率	受賞鳩	受賞鳩舎名	受賞年
1位	0.00813	01KA51598	新戸廣次鳩舎	02年
2位	0.00835	07MA02146	鈴木信義鳩舎	09年
3位	0.01110	02KA08794	奥住 豊鳩舎	04年
4位	0.01264	15MM01451	及川 茂鳩舎	16年
5位	0.01370	96BF34956	橋本治男鳩舎	97年
6位	0.01508	95KA52725	柴田博之鳩舎	96年
7位	0.01520	16MM00531	及川 茂鳩舎	17年
8位	0.01643	01XB02278	今井雅之鳩舎	03年
9位	0.01654	02XB12406	今井雅之鳩舎	04年
10位	0.01729	04MM00503	及川 茂鳩舎	05年

受賞羽数ランキング

順位	羽数	受賞鳩舎名
1位	25羽	↑及川 茂鳩舎 (新日本)
2位	5羽	飛田輝明鳩舎 (茨城北)
3位	4羽	古川順一鳩舎 (市川南)
		横地光彦鳩舎 (静岡県)
		藤田淳一鳩舎 (尾北第三)
6位	3羽	鈴木邦男鳩舎 (常総中央)
		鈴木信義鳩舎 (東京南部)
		岸 正久鳩舎 (東京鳩米)
		安藤義文鳩舎 (元・三河東部)
		今井雅之鳩舎 (元・姫路)
		三宅良治鳩舎 (岡山中央)

* 22年度版社員名簿順

日本エースビジョン賞 歴代受賞鳩舎 (1992年～2023年)

※敬称略 ()は受賞時点の所属連合会

第25回 (平成28年度・16年)

全国1位	及川 茂	(新日本)
全国2位	及川 茂	(新日本)
全国3位	及川 茂	(新日本)
全国4位	本橋 博美	(多摩東部)
全国5位	川澄 栄	(真岡)
全国6位	長谷川 傑	(日本海)
全国7位	李 根浩	(川崎)
全国8位	永谷 肇一	(尾張)
全国9位	鹿島 成浩	(武蔵野)
全国10位	栗原 明則	(土浦第一)

第17回 (平成20年度・08年)

全国1位	古川 順一	(市川南)
全国2位	松井 富士男	(西多摩)
全国3位	吉田 三男	(東愛知)
全国4位	深山 秀幸	(山の手)
全国5位	小松 博	(小田原)
全国6位	高橋 三郎	(埼玉南部)
全国7位	吉村 和道	(宇都宮中央)
全国8位	長谷 賢二	(加賀第三)
全国9位	吉村 和道	(宇都宮中央)
全国10位	東亜 ロフト	(練馬)

第9回 (平成12年度・00年)

全国1位	吉村 竹恒	(なにわ)
全国2位	横地 光彦	(静岡中央)
全国3位	岩片 清	(鳳)
全国4位	山崎 昭夫	(つくば南部)
全国5位	永井 勇	(新日本)
全国6位	岡田 辰一	(ニュー愛知)
全国7位	平山・阿部	(ニュー三陸)
全国8位	堀内 正勝	(東京城西)
全国9位	佐藤 昭六	(水沢第一鳩友)
全国10位	後藤 哲郎	(水沢第一鳩友)

第1回 (平成4年度・92年)

全国1位	芙蓉 ロフト	(東三河)
全国2位	松尾 勝利	(イヅミ)
全国3位	大高 繁	(関東東部)
全国4位	大賀 達也	(ニュー倉敷)
全国5位	後藤 豪	(播州)
全国6位	三宅 良治	(ニュー倉敷)

第26回 (平成29年度・17年)

全国1位	及川 茂	(新日本)
全国2位	阿部 正孝	(ニュー山南)
全国3位	及川 茂	(新日本)
全国4位	照山 俊郎	(千原)
全国5位	飛田 輝明	(茨城北)
全国6位	及川 茂	(新日本)
全国7位	黒田 哲夫	(上総)
全国8位	黒田 勝治	(茨城)
全国9位	中島 作巳	(土浦第一)
全国10位	中根 一男	(常陸小川)

第18回 (平成21年度・09年)

全国1位	鈴木 信義	(東京南部)
全国2位	浜田 充弘	(三重第二)
全国3位	杉山 洋	(土浦中央)
全国4位	吉田 三男	(東愛知)
全国5位	小峯 忠雄	(西多摩)
全国6位	倉田 光市	(埼玉中央)
全国7位	藤井 孝彦	(福井県)
全国8位	橋本 三紀男	(しらさぎ西)
全国9位	倉田 光市	(埼玉中央)
全国10位	う さ ぎ	(水戸梅香)

第10回 (平成13年度・01年)

全国1位	小室 梅吉	(N埼玉東部)
全国2位	円尾 友章	(播州姫路)
全国3位	大久保和夫	(神奈川中央)
全国4位	水野・渡辺	(東愛知)
全国5位	小林 芳直	(愛知三州)
全国6位	古橋 義彦	(三河東部)
全国7位	藤田 淳一	(尾張)
全国8位	及川 茂	(新日本)

第2回 (平成5年度・93年)

全国1位	平子 敏幸	(いわき)
全国2位	三宅 博幸	(ニュー倉敷)
全国3位	今井 久	(酒田)
全国4位	金光 保	(三重第三)
全国5位	佐々木敏治	(武蔵野)
全国6位	大野 操	(常南)
全国7位	三宅 良治	(ニュー倉敷)
全国8位	三宅 良治	(ニュー倉敷)
全国9位	金子 正光	(市川南)
全国10位	中島 耕二	(呉)

第27回 (平成30年度・18年)

全国1位	吉田 憲二	(金沢)
全国2位	古西 正二	(東総)
全国3位	北口 純一	(金沢)
全国4位	本間 正明	(札幌)
全国5位	本間 正明	(札幌)
全国6位	山崎 等	(長岡中央)
全国7位	日晃ロフト	(東北宇都宮)

第19回 (平成22年度・10年)

全国1位	宮内 淑雅	(東京一之江)
全国2位	及川 茂	(新日本)
全国3位	室田 英夫	(北北)
全国4位	及川 茂	(新日本)
全国5位	岡沢 宏	(稲敷中央)
全国6位	岸 正久	(東京鳩栄)
全国7位	小原 義忠	(木更津)
全国8位	谷藤 隆	(鹿島)
全国9位	米倉 勝弘	(下総)
全国10位	佐藤 純一	(由利)

第11回 (平成14年度・02年)

全国1位	新戸 広次	(埼玉)
全国2位	酒井 英男	(埼玉吉川)
全国3位	徳升 政重	(ニュー愛知)
全国4位	三田 庄一	(札幌)
全国5位	日高 清	(愛知三州)
全国6位	水野・渡辺	(東愛知)
全国7位	高橋 昇	(埼玉)
全国8位	谷藤 隆	(鹿島)
全国9位	野宮 博規	(五所川原)
全国10位	小林 肇夫	(埼玉東部)

第3回 (平成6年度・94年)

全国1位	上条 秀雄	(富山)
全国2位	篠田 久義	(東京鳩栄)
全国3位	山下鉄次郎	(東京鳩友)
全国4位	堀内 弘之	(三重第一)
全国5位	安藤 義文	(三河東部)
全国6位	則竹 伸也	(尾張)

第28回 (令和元年度・19年)

全国1位	飛田 輝明	(茨城北)
全国2位	本橋 博美	(多摩東部)
全国3位	古里 治彦	(京都雅)
全国4位	小川安都志	(東金セントラル)
全国5位	加古 一富	(東海)
全国6位	永江ロフト	(しらさぎ南)
全国7位	及川 茂	(新日本)
全国8位	川澄 栄	(真岡)
全国9位	一文字ロフト	(茨城東)
全国10位	奥住 豊	(埼玉中央)

第20回 (平成23年度・11年)

東日本大震災によるレース中止で
顕彰なし

第12回 (平成15年度・03年)

全国1位	今井 雅之	(姫路)
全国2位	田中 秀樹	(房総)
全国3位	UFO ロフト	(春日部)
全国4位	村山 広巳	(関東東部)
全国5位	藤田 淳一	(尾張)
全国6位	乙川 清	(新潟北越)
全国7位	田上 時男	(石岡)
全国8位	鈴木 邦男	(常総中央)
全国9位	都司 力	(鹿島)
全国10位	松尾 勝利	(関西)

第4回 (平成7年度・95年)

全国1位	北澤 利明	(常総中央)
全国2位	鈴木 信義	(東京南部)
全国3位	増田 和雄	(尾張)
全国4位	フーファイト	(福岡)
全国5位	若間 正任	(堺)
全国6位	岡田 一雄	(高岡)
全国7位	川流 龍二	(福岡)
全国8位	鷺山 南芳	(加越)
全国9位	原 勝巳	(新東)
全国10位	宮下 昌士	(社)

第29回 (令和2年度・20年)

コロナ禍によるレース中止で
顕彰なし

第21回 (平成24年度・12年)

全国1位	龍田 元	(稲敷中央)
全国2位	佐藤 守	(東京南部)
全国3位	内山ロフト	(遠州)
全国4位	及川 茂	(新日本)
全国5位	白井 行弘	(東愛知)
全国6位	海老 利明	(富山)
全国7位	秋元 武美	(能代中央)
全国8位	神谷 中	(尾張)
全国9位	神谷 中	(尾張)
全国10位	田島 富夫	(天竜浜名湖)

第13回 (平成16年度・04年)

全国1位	奥住 豊	(埼玉中央)
全国2位	今井 雅之	(姫路)
全国3位	藤田 淳一	(尾張)
全国4位	及川 順一	(市川南)
全国5位	岸 正久	(東京鳩栄)
全国6位	今井 雅之	(姫路)
全国7位	古川 順一	(市川南)
全国8位	プリモロフト	(房総)
全国9位	都司 力	(鹿島)
全国10位	金本 昇治	(埼玉)

第5回 (平成8年度・96年)

全国1位	柴田 博之	(埼玉草加)
全国2位	鈴木 邦男	(常総中央)
全国3位	早乙女節夫	(横浜)
全国4位	鈴木 信義	(東京南部)
全国5位	坪井 和利	(尾張)
全国6位	宗重 勲	(堺)
全国7位	大友 浩三	(仙北)
全国8位	長島 祐二	(常総中央)
全国9位	鈴木喜美男	(ニュー山南)
全国10位	小林 芳直	(新東)

第30回 (令和3年度・21年)

全国1位	上野 栄一	(なにわ)
全国2位	長谷川 傑	(日本海)
全国3位	山田 真澄	(日東)
全国4位	平川 兄弟	(関東中部)
全国5位	船川 勝信	(埼玉)
全国6位	秋元 儀一	(大千葉)
全国7位	KANDA LOFT	(鎌ヶ谷中央)
全国8位	平川 智一	(岡山中央)
全国9位	古里 治彦	(京都雅)
全国10位	飛田 輝明	(茨城北)

第22回 (平成25年度・13年)

全国1位	岩倉 安廣	(静岡吉田)
全国2位	及川 茂	(新日本)
全国3位	佐藤 蔵祐	(岐阜中央)
全国4位	菊地 久幸	(稲敷中央)
全国5位	永谷 肇一	(尾張)
全国6位	及川 茂	(新日本)
全国7位	桑原 次郎	(三重第三)
全国8位	岸 正久	(東京鳩栄)
全国9位	須藤 信之	(栃木北部)
全国10位	下道 隆章	(金沢)

第14回 (平成17年度・05年)

全国1位	及川 茂	(新日本)
全国2位	小野 久雄	(関東東部)
全国3位	佐藤 守	(東京南部)
全国4位	古川 順一	(市川南)
全国5位	大竹 信雄	(新須賀川)
全国6位	照沼 渉	(茨城葵)
全国7位	藤田 淳一	(尾張)
全国8位	海野 睦巳	(静岡県)
全国9位	山下鉄次郎	(練馬)
全国10位	小野 久雄	(関東東部)

第6回 (平成9年度・97年)

全国1位	橋本 治夫	(水沢)
全国2位	細谷 佐利	(鎌ヶ谷中央)
全国3位	横地 光彦	(静岡中央)
全国4位	那須川徳寿	(駒形)
全国5位	大塚 和則	(神奈川中央)
全国6位	神谷 住雄	(静岡西部)
全国7位	稲垣 富二	(ユーカリ)

第31回 (令和4年度・22年)

全国1位	白井 俊也	(東愛知)
全国2位	岡澤 豊次	(北総)
全国3位	及川 茂	(新日本)
全国4位	石井 節生	(ちくぜん)
全国5位	平野 耕二	(宮城)
全国6位	石川 建一	(埼玉北葛)
全国7位	高島 茂	(茨城北)
全国8位	伊藤 春男	(東総)
全国9位	古西 正二	(鹿島)
全国10位	スイカージング	(成田)

第23回 (平成26年度・14年)

全国1位	鈴木 明夫	(常北)
全国2位	及川 茂	(新日本)
全国3位	及川 茂	(新日本)
全国4位	上田 俊郎	(関東南部)
全国5位	及川 茂	(新日本)
全国6位	和地 光尚	(五峰)
全国7位	遠藤 宝	(富嶺)
全国8位	望月 一	(大静岡)
全国9位	及川 茂	(新日本)
全国10位	NAT ロフト	(東愛知)

第15回 (平成18年度・06年)

全国1位	高山 初夫	(中京)
全国2位	及川 茂	(新日本)
全国3位	橋本三紀男	(しらさぎ西)
全国4位	大竹 信雄	(新須賀川)

第7回 (平成10年度・98年)

全国1位	芙蓉ロフト	(東三河)
全国2位	大嶋 進	(房総)
全国3位	安藤 義文	(三河東部)
全国4位	川崎 淳一	(県央南)
全国5位	小林 晴夫	(新東)
全国6位	加賀 邦彦	(一関)
全国7位	小池 一誠	(三重第二)
全国8位	伊藤 康男	(山の手)
全国9位	岡田 辰一	(新東)
全国10位	田中 誠治	(武蔵野)

第32回 (令和5年度・23年)

全国1位	杉田 政雄	(福井県)
全国2位	及川 茂	(新日本)
全国3位	飛田 輝明	(茨城北)
全国4位	星 輝雄	(仙北)
全国5位	藤井 孝彦	(福井県)
全国6位	米田幸由司	(なんば)
全国7位	古野 喜一	(埼玉北部)
全国8位	鈴木・大内L	(茨城北)
全国9位	杉山 浩紀	(N埼玉東部)
全国10位	小川 正雄	(京葉)

第24回 (平成27年度・15年)

全国1位	高山 初夫	(中京)
全国2位	栗原 明則	(土浦第一)
全国3位	黒田 哲夫	(上総)
全国4位	及川 茂	(新日本)
全国5位	うさぎロフト	(茨城北)
全国6位	堀尾 優	(群馬)
全国7位	関谷 肇	(紀伊)
全国8位	飛田 輝明	(茨城北)
全国9位	笠原 通孝	(北星)
全国10位	横地 光彦	(静岡県)

第16回 (平成19年度・07年)

全国1位	鈴木 邦男	(常総中央)
全国2位	金本 昇治	(埼玉)
全国3位	谷澤 六雄	(埼玉草加)
全国4位	黒川 弘一	(宇都宮)
全国5位	米田幸由司	(なんば)
全国6位	荒原 進	(鹿島)
全国7位	佐藤 恒雄	(稲敷中央)
全国8位	及川 茂	(新日本)
全国9位	小峯 忠雄	(西多摩)
全国10位	吉野 喜一	(埼玉北部)

第8回 (平成11年度・99年)

全国1位	香山 光男	(岐阜県)
全国2位	小池 哲也	(静岡西部)
全国3位	佐々木 優	(由利)
全国4位	安藤 義文	(三河東部)
全国5位	間宮 清	(東愛知)
全国6位	堀江 康弘	(京阪)
全国7位	鶴沢 牧夫	(ニュー盛岡)
全国8位	横地 光彦	(静岡中央)
全国9位	佐々木 優	(由利)
全国10位	小谷 繁久	(与一)